

開封しました ほほえみポスト



2009年8月 小豆沢病院利用委員会

今回は、2009年8月の1ヶ月間で、4通の投書をいただきました。この内容は外来のディスプレイで放映しているほか、小豆沢病院のホームページにも掲載しています。ホームページでは過去1年分をご覧いただくことができます。

www.kenbun.or.jp

改善に関わる投書

今回は、ありませんでした。

ご評価をいただいた投書

- 7月の祝日の夕方前に、CT検査の予約変更のため来院しました。自己都合による変更にもかかわらず、当方の不安を取り除く対応に感謝いたします。受付の対応ありがとうございました。
- 2階病棟にご入院された患者様のご家族から(要旨)
2階病棟のスタッフ様
かわいいバースデーカードありがとうございました。8月上旬の夕食時に病院に来たら、主人がそれおいしいよと言いました。
今年は、何もしてあげられませんが、後できっと喜ぶでしょう。後、2、3日、バースデーカードをここに貼っておいて下さい。その後、記念にいただきます。
うれしいです。ありがとうございました。
- 患者様から(要旨)
一昨年お世話になったときにも、本当に先生、看護師さん、皆さんに親切にしてください、この度も、皆さん親切にしてくださいました。ありがとうございました。感謝しております。この前にも、たしか書いたと思いますが、「医は仁術」この言葉が、この病院では、今も生きています。この後もお世話になるとは思います。82歳の老婆ですのでよろしくお願い致します。本当にありがとうございました。
- 2階病棟にご入院された患者様のご家族から
先生へ。これからも人々のためにがんばって下さい。よろしく願い致します。ありがとうございました。
- 3階病棟にご入院された患者様から(要旨)
今回で、この病院にお世話になるのが3回目になります。何時も感じるのですが、本当に(職員の)皆さんが優しくして下さる事に、心から感謝して居ります。
同室の方が(看護師に対して)1度に頼めばいいのに、(私でも)又と思える程何度も頼んだことに対して、何時も笑顔で良くこたえています。出来ない事だなと思います。
私も、この年まで、いろいろな病院に入院しましたが、皆に優しくして下さる病院を知りません。明日、退院致しますが、大勢の皆さんにお礼を込めて、心からありがとうございましたと申し上げたいです。何時も思っていることですが、「医は仁術」と言える言葉の生きている病院だと思っています。心からありがとうございました。

第1回ほほえみポストで俳句と川柳

5月末～7月中旬まで、7人の方から12の作品のご応募をいただきました。ありがとうございました。全作品をご紹介します。

山一

朝礼は 安全医療の 立役者 (しっかりやりましょう)

寄生虫(やどかり)いっせい

リハビリの 成果は晴れて たなぐもる

西日さす 名残りの院の 窓景色

とい

手術はね 勇気を出して ほほえんで

山内和文さん

この涙 病人のため 梅雨最中

朝すずめ カラスかわして 梅雨はれま

白衣人 ねむけかくして 天使顔

入院中 年金カット 得意顔

パーコン

病院の 笑顔も患者を 治療する

なによりも重い命と向き合って

小豆沢 みんな 燃えている

くろ

病院 それは いいところ なおすところ

チームM

看護師は ひとびとさきえ なおしたり

